

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



就学支援を受けている子どもたち(ザンビア孤児院)

皆様の尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

世界中がコロナ渦の中、やっと対策ワクチンの接種が一部の国のあいだで始まりました。

日本でも医療従事者を優先としてワクチン接種がはじまりました。いよいよ世界中でワクチン接種が始まるように見える中、先日WHOが大変気になる発言をしました。

先進国がワクチンを買占め、所謂貧国にワクチンがまわらなくなる、と言った内容でした。私共の孤児院の所在国は、貧国と言われる国々です。決して他人事ではありません。これらの動きから見るに、世界中で、これからさらに、助けを必要とする子供達の数が増えていくことに間違いは無いだろうということです。本当に、なんとか一人でも多くの子供達を助けることができれば、と思って止みません。ただ、皆様の御支援により、私共孤児院の子供達は、しっかりと守られております。

1人でも多く、困窮する子供達を助ける為に、是非、これからも皆様の御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。雨季が終わると(11月の終わり頃)1年でも1番涼しい涼季に入りますが、今年は涼しい天候が思った以上に続きました。この時期だけは、カンボジアの気温も30度を下がることも珍しくありませんが、今回は何と!ブンペンで18度まで下がり、この気温は私がこちらに来て体験した最低気温となりました。涼しいを通り越して寒い!と感じるほどでしたが、このような気候の変化の中で、風邪症状が出たりした子ども達もいましたが、大事には至らず過ごしている事を本当に感謝しています。1月に、孤児院をすでに巣立って何年にもなるMIから突然連絡があり、住んでいる地方から顔を出してくれました。すでに結婚して2児のお父さんになっています。孤児院にと、いろいろ持参してくれました。沢山のご支援を頂いて自立した今、現在の彼の心境は、孤児院で本当に大変よくしてもらった!と話してくれました。ご支援を受けた子ども達が、今度は他の方々を助け支援する側になってほしい...と願っていますが、今回私達も折にかなった助けを受けることが出来て、とても嬉しく心から感謝しました。



孤児院を訪ねてくれたMI(写真手前)

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンでは先日全ての学校で学期試験が行われました。次回は4月に行われる予定です。学校行事はありませんが、モジュール授業の他に、オンラインでの課題の発表や、レポートをEメールで先生に送ったりしています。教育省は「落第者を出さない」という方針は、コロナウィルスによるパンデミックの中では、試験に合格するためだけの勉強になってしまう可能性があるとして反対しています。本当に興味を持って熱心に勉強している子どもたちに対して不公平になりますし、無理をして進級するよりも各々の学力に適した学年でしっかり学んだ方が良いという考えです。私自信もそれに賛成です。子どもたちが本当に興味を持って熱心に各教科に取り組むのであれば、皆様から尊いご支援頂いて勉強している意味が無いと思うからです。皆様のご支援によって子どもたちが勉強を続けられていることを心から感謝しています。引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



オンライン授業を受ける子どもたち

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? 皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます。ようやくこの2月からザンビア全ての学校が開校されました。Cornerstone Of Hopeも、新たに孤児20人を受け入れる事が出来て、現在40人。朝食と昼食をしっかりと食べて、しっかりと勉強し、しっかりと遊ぶ...そんな事がようやく可能になりました。現在の課題は、学力差が大きい(と判明した)小1、小2クラスをそれぞれ2つに分ける事。そのためには、新たなクラスルームと、先生の雇用が必要になってきますので、色々考案中です。スラムの孤児たちを支援する中で見えてきたこと...それは、多くの孤児達が、家庭においてネグレクト状態にある、という事です。怪我をしていても、寒くて凍えていても、お腹を空かしていても、気にかけてくれるひとが、誰もいない。そういう環境の中にいると、自分自身に対しても無関心、無感動になってしまい、「痛い」とか「悲しい」「嬉しい」という思いを発する事がなくなってしまっているようです。食べさせて、教育を与えて、それでもまだまだ、やる事がたくさんあります。



放置されていた病気。治療を受けて、随分改善できました。継続して服薬しています。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。1月20日から3月16日の予定で、日本に一時帰国しています。去年末、サンパウロ州の内陸部北西650キロのグアララパスにありました、礎の石孤児院の土地が売れて、これからのブラジルにおける活動について、どうしていったらいいのか、検討する時にさしかかっています。皆様のご寄付で与えられた、大自然に恵まれて、静かな、子供たちが住むには最適と思われる素晴らしい場所でしたが、治安の面で問題があり、名残惜しい気持ちはありましたが、手放すことになりました。ブラジルでは、子供を守る連邦法、児童憲章のようなものが他国に比べて規制が厳しく、児童養護施設の運営についての認可が難しい状況です。開設のためには、3親等以上の役員を最低8人以上集めなければなりません。土地は賃貸でも可能ですが、施設についても台所の様式など、建築技師でなくては分からない多くの規定があります。新型コロナウイルスの蔓延が世界ワースト3位という状況ですが、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ブラジル担当の星名スタッフ(右)とサポーターの方と松本スタッフ!